

黒潮町総合防災訓練

8月31日、黒潮町総合防災訓練が町内全域で一斉に行われ、約4400人が参加しました。

今回の総合防災訓練では、必ず来ると予想されている南海トラフ巨大地震が発生したと想定。沿岸部は主に津波、山間部では土砂災害などに対する避難訓練や、安否確認、情報伝達訓練などを行いました。

訓練終了後は、地区ごとに想定される災害に合わせて計画された消火訓練や放水訓練、炊き出し訓練など、さまざまな訓練を地域住民と自主防災組織、消防団、町職員などが連携して行いました。

全住民の約3人に1人という参加率は、住民の皆さんが高い防災意識をもって参加したことの表れです。

日本一厳しい津波高の発表を受けた黒潮町ですが、災害を正しく恐れ、定期的に訓練を行うことで減災することができます。

今後も皆さんで防災意識を高く

保ち、助かる命が当たり前に助かる、災害に強い町をつくっていきましょう。



午前8時の緊急地震速報と直後のサイレン・避難指示を地震発生と見立て、一斉に避難。

福祉避難所開設・運営訓練

黒潮町福祉避難所協議会が、8月28日、大方誠心園にて福祉避難所の開設・運営訓練を行いました。

福祉避難所とは、一般的な避難所では生活に支障がある方(要配慮者)を対象に、特別な配慮がされた避難所で、黒潮町では、かしま荘、シーサイドホーム、大方誠心園、大方生華園、ことぶきなど、7つの福祉事業所と協定を結んでいます。

訓練には、町内指定福祉避難所



民生委員や地域住民も参加し、福祉避難所の開設・運営の手順を確認しました。

と黒潮町、黒潮町社協、高知県、高知県社協の職員ほか、民生委員や大方誠心園のある小川地区住民など約90人が参加しました。

まず、黒潮町からの要請を受けて福祉避難所を開設。次に、障がい者や高齢者などの配慮が必要な避難者を受け入れ、健康状態をチェックし、必要物資を配給。避難者全員の受け入れ先が決まり、避難所を閉鎖するまでの一連の流れを確認しました。

また、小川地区女性部やボランティアくじらのメンバーによる炊き出し訓練も実施。薪でご飯を炊いておにぎりを作り、黒潮町缶詰製作所の缶詰と一緒に試食しました。

「地域災害支援ナース育成研修」受講者募集のお知らせ

対象者：地域の看護師・准看護師(会員・非会員)
 日時：11月8日(土) 午前9時～午後4時
 場所：四万十市立市民病院 大会議室
 参加費：無料
 申込方法：災害看護研修申込書B(教育冊子・ホームページからダウンロード)を用いて、**開催7日前までに、開催場所を明記しお申し込みください。**不明な際はお電話でも受け付けます。

【お申し込み・お問い合わせ】
 公益社団法人高知県看護協会(災害看護担当・秦)
 ☎088-844-0678 ☎088-844-0053

高知県下で発生する広域自然災害の際に、地元の避難所や救護所、救護病院などで活動する看護職を育成する研修です。
 現在、現場を離れている方・お仕事をされている方、一度も災害研修を受けたことがない方看護職ならどなたでも参加できます!!



平成26年度コミュニティ助成事業を実施しました



資機材を確認する吉本会長。

財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業を行っています。

黒潮町でも、この事業を活用して浜町地区自主防災組織に防災資機材を整備しました。

浜町地区自主防災組織は、平成16年に設立されて以来、防災マップの作成や、夜間など、地震の発生時間を変えながら多様な場面を

想定した避難訓練を実施するなど、活発な活動をしている防災意識の高い地区です。これらの活動が評価され、コミュニティ助成事業の対象となり、テントや救助工具などの防災資機材を整備することができました。

浜町地区自主防災組織の吉本会長は「設立以来、訓練を重ねるごとに、各班長や女性部だけでなく、地区の皆さんも積極的に参加してそれぞれの特技を発揮するようになりました。今後は、今回整備した資機材を、災害発生時だけでなく防災訓練などでも活用し、地区の皆さんが最大限活用できるよう、これまで以上に組織の強化と、自助・共助の関係を高めていきたいと考えています」と、今後の活動方針を語っていました。



土砂災害にご注意ください!

8月に広島市で起こった土砂災害では、多くの人命が失われるなど、多大な被害が出ました。

自然災害に対して、その事象を必ず止める手だてはありません。土砂災害に関する知識と危険箇所を事前に把握しておき、いざという時にはすぐに避難しましょう。

▼土砂災害に関する知識

土砂災害には、3つの種類があります。

【がけ崩れ】

豪雨や地震によって、斜面が突然崩れ落ちるものをいいます。

【土石流】

豪雨によって、山から崩れ落ちた土砂や岩が、水と一緒にものすごい勢いで流れ落ちてくるものです。

【地すべり】

豪雨によって、比較的緩やかな斜面の地中の粘土層などの滑りやすい面が、地下水の影響などでゆっくり動き出すものをいいます。前述のとおり、大雨の際は土砂

災害が発生しやすくなります。

▼土砂災害の前ぶれ

次のような現象が見られた場合は、すぐに避難してください。

- 山鳴りがする
- 沢や川の水が濁ったり、流木が混ざったりする。
- 雨が降っているのに川の水が減る。
- 小石がパラパラ落ちる。
- 斜面から水が噴き出す。
- 地面にひび割れができる。

▼危険箇所について

黒潮町のホームページ（防災コーナー）で、土砂災害危険箇所マップを公表しています。

お住まいの地区を中心に、土砂災害の危険箇所を把握しておき、いざという時に備えておきましょう。

※黒潮町ホームページ（防災コーナー）

<http://www.town.kurashio.lg.jp/bo-usai/>

○お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎43-21888（課直通）

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113（直通）